

年 金 あ れ こ れ

『20歳になったら国民年金』

国民年金は、年をとったときやいざというときの生活を、現役世代みんなで支える仕組みです。国内に居住する20歳以上60歳未満のすべての人が加入し、保険料を納めることになります。

国民年金（基礎年金）3つのメリット

1. 老齢基礎年金 老後を支えます。
2. 障害基礎年金 病気やけがなどで障がいの状態になったときに支えます。
3. 遺族基礎年金 加入者が亡くなったとき、子のある配偶者とその子を支えます。

世代と世代の支え合いの制度です

公的年金制度は、現役世代が納める保険料で高齢者の年金を負担する「世代と世代の支え合い」の制度です。

保険料を納めるのが難しいとき

学生納付特例制度

学生で所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される制度です。

【対象】学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校（修業年限1年以上の課程）に在学する方。

納付猶予制度

学生でない50歳未満の方で本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、保険料の納付が猶予される制度です。



どちらの制度も猶予を承認された期間は老齢基礎年金を受け取るために必要な期間に算入されませんが、年金額には反映されません。納付が可能となったときに「追納制度」により納付することで、将来受け取る年金額を増やすことができます。

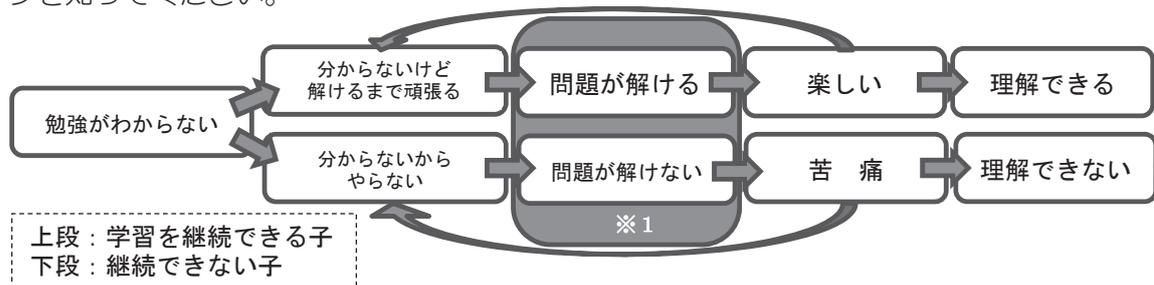
保険料納付を忘れずに…納めて安心国民年金

こ れ か ら の 家 庭 教 育

学習力を高めて成績アップ

学校は毎日膨大な情報量を子どもたちに伝達しています。そして定期的にその内容を出力できるかを試験しています。これを小学校～大学まで続けると16年間（高校までなら12年間）、とても長い期間子どもたちは実践しています。

頭が良いことと学習力が高いことは実は別です。16年間していく勉強を苦しいものではなく楽しいものにするために学習力を高める方法をお伝えします。第1に学習を継続できる子とそうでない子のパターンを知ってください。



保護者の皆さんはこのフローチャートから何を読み取るでしょうか。当たり前のチャートに見えますが、注目するところはどちらの子も、その問題を解く時点（※1）では内容を理解できていないところです。

継続できない子は「意味が分からないからできない（しない）。」と言います。しかし、継続できる子も実は「意味は分からないけど努力しているのです。」これが学習力の差です。継続できない子はまず、問題と答えを丸暗記してでもテストで丸をもらうことが最初のステップです。意味の分からない言葉を覚えて書くことに、最初は何の意味も見出せないかもしれませんが、必ず価値は後からついてきます。

自分ができないことに向かい合うことは辛いことです。努力しない理由を「先生の教え方」や「学習環境」など、自分以外のせいにするのは楽ですが、これからの人生を有意義なものとするために、少しずつ努力を積み重ねてみてはいかがでしょうか。